



平成21年12月4日

各 位

会 社 名 株式会社 東 研
代表者名 代表取締役社長 春山 安成
(J A S D A Q ・ コード6738)
問合せ先 取締役総務部長 大類 隆義
(TEL . 03 - 5325 - 4321)

資本・業務提携、第三者割当により発行される株式の募集及び「主要株主である筆頭株主の異動及び主要株主の異動」並びに「その他の関係会社の異動」に関するお知らせ

当社は、平成21年12月4日開催の当社取締役会において、株式会社マースエンジニアリング（以下、「マースエンジニアリング」といいます。）との資本・業務提携に関する基本合意書の締結及びマースエンジニアリングを割当先とする第三者割当により発行される株式の募集（以下、「本増資」といいます。）について、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

また、本増資に伴い、当社の「主要株主である筆頭株主」、「主要株主」及び「その他の関係会社」（当社が他の会社の関連会社である場合における当該他の会社）に異動が生じる見込みとなったため、併せてお知らせいたします。

記

I. 資本・業務提携の内容

1. 資本・業務提携の目的

当社はバーコードリーダー、2次元コードリーダー（イメージャー）と関連品（バーコードプリンタ、サプライ品）の製造・仕入・販売、産業用X線検査装置の製造・販売及び60ギガヘルツミリ波帯の画像通信システムの開発・製造・販売を展開しております。

当事業は、製造業の設備投資の動向が大きく影響を及ぼします。昨年以降のアメリカ金融不安に端を発した世界同時不況の影響により国内景気の不振は依然として深刻であり、先行き不透明な状況が続いていることから、製造業においては設備投資が抑制され、当社の経営環境は引き続き厳しい状況が継続しております。

当社は、この厳しい状況を乗り切るため、国内の投資意欲が旺盛な食品業界、薬品業界、省エネ産業、環境関連産業等に営業力を集中する等の販売の強化と、人件費をはじめとした諸経費の削減等費用の圧縮に努めてまいりました。

しかし、より一層の安定した事業運営のため、販売力・技術力の強化、自己資本の充実及び財務の健全性の強化を図ることが急務であり、かねてより資本・業務提携先を模索しておりました。

資本・業務提携先であるマースエンジニアリングは、アミューズメント業界向けシステムの開発・製造・販売・アフターサービスを主たる事業としており、同業界においては「開発型企業のマース」として、信頼と実績を確立している会社であります。また、同グループ会社の株式会社マーステクノサイエンスは、ICカードやICタグを使用したシステムやソフトまですべて自社内で開発し

ております。これらのRFID（ICタグ（チップ）を利用した非接触無線通信による識別技術）は、当社の主力製品である2次元コードリーダーと、自動認識分野において補完的な位置づけにあり、両社が協力体制を築くことにより、自動認識分野における商域の拡大にシナジー効果が期待できます。さらに、同社はアミューズメント以外の分野へも、ハード・ソフト両面における独自の高い技術開発力で積極的に進出し、事業領域を拡大する戦略であり、当社の事業領域全般にも高い関心と理解をいただいております。

今後、当社が、自動認識分野において業績の安定化、さらには拡大を目指していくためには、同分野における商材及びアプリケーションソフトの充実と、商域及び販路の拡大、技術力の強化が必要不可欠であります。早急かつ効率的にこれらを充足するためには、同分野において当社の2次元コードリーダーと補完的な位置づけにあるRFIDを手掛けており、ハード・ソフト両面で高い技術開発力を持ち、独自の商域及び販路を有するマースエンジニアリングとの提携が最良の選択であると考えております。

両社の信頼・協力関係を一層強固なものにし、さらなる株主価値及び企業価値向上を目的とし、マースエンジニアリングを割当先とする本増資（3,574,000株、発行後の発行済株式数31.08%）を実施いたします。なお、本増資により、当社はマースエンジニアリングの持分法適用関連会社となる予定であります。

本増資によるマースエンジニアリングとの資本関係の構築により、信頼・協力関係を一層強固なものにし、新たな関係の構築を通じて、営業力、技術力の両面の強化を図り、中長期的に当社の経営成績を向上させ、安定した収益構造への変革を推進することができると考えております。また、本増資により調達する資金は、当社の財務体質をより健全化させるとともに、運転資金の充実により、会社運営の安定化につながり、企業としての事業を発展継続させることが可能となり、将来的に株主価値を増大させることができると考えております。

2. 業務提携の内容

自動認識分野において RFID と 2次元コードリーダーは補完的な位置づけにあり、両社が協力体制を築くことで、次のシナジー効果が期待できます。

- (1) 自動認識分野における商材の拡大や販売チャネルの相互活用による販売力の強化
- (2) 共同開発及び仕入れによるコスト削減や開発人員の再配置、工場の統廃合による生産体制の合理化・効率化

なお、業務提携の具体的な内容及び推進方法については今後両社において協議いたします。

3. 取締役の派遣

本資本・業務提携に基づき、当社は、平成22年7月下旬開催予定の当社第40回定時株主総会において、マースエンジニアリングの推薦する取締役または監査役を選任する予定であります。

4. 資本提携の概要

後記「Ⅱ. 第三者割当より発行される株式の募集について 6. 割当先の選定理由等」に記載しております。

5. 資本・業務提携の日程

- | | |
|-------------|--------------------|
| 平成21年12月4日 | 取締役会決議 |
| 平成21年12月4日 | 資本・業務提携に関する基本合意書締結 |
| 平成21年12月22日 | 申込期日 |
| 平成21年12月24日 | 払込期日 |
| 平成21年12月24日 | 第三者割当による新株式発行 |

II. 第三者割当により発行される株式の募集について

1. 募集の概要

- | | |
|---|---|
| (1) 申 込 期 日 | 平成21年12月22日 |
| (2) 払 込 期 日 | 平成21年12月24日 |
| (3) 発 行 新 株 式 数 | 普通株式 3,574,000株 |
| (4) 発 行 価 額 | 1株につき金 100円 |
| (5) 発 行 価 額 の 総 額 | 357,400,000円 |
| (6) 資 本 組 入 額 | 1株につき金 50円 |
| (7) 資 本 組 入 額 の 総 額 | 178,700,000円 |
| (8) 募 集 又 は 割 当 方 法
(割当先) | 第三者割当の方法による
株式会社マースエンジニアリング 3,574,000株 |
| (9) その他有価証券届出書に記載している内容のうち発行株式に関する必要な内容 | |
- ①前各項については、金融商品取引法による届出の効力発生を要する。

【ご参考】

発行済株式総数の推移（資本金の推移）

- | | |
|-------------------------------|---|
| (1) 現在の発行済株式総数
(現在の資本金額) | 7,926,000株 (平成21年12月4日現在)
(1,134,200,000円) |
| (2) 今回の発行株式総数
(今回の増加資本金額) | 3,574,000株
(178,700,000円) |
| (3) 増加後の発行済株式総数
(増加後の資本金額) | 11,500,000株
(1,312,900,000円) |

2. 募集の目的及び理由

前述の資本・業務提携の目的のとおり、今後、当社が、自動認識分野において業績の安定化、さらには拡大を目指していくためには、同分野における商材及びアプリケーションソフトの充実と、商域及び販路の拡大、技術力の強化が必要不可欠であり、早急かつ効率的にこれらを充足するためには、同分野において当社の2次元コードリーダーと補完的な位置づけにあるRFIDを手掛けており、ハード・ソフト両面で高い技術開発力を持ち、独自の商域及び販路を有するマースエンジニアリングとの提携が最良の選択であると考えております。

そのため、当社は、提携先であるマースエンジニアリングとの資本関係の構築により、信頼・協力関係を一層強固なものにし、新たなる関係の構築を通じて、営業力、技術力の両面の強化を図り、中長期的に当社の経営成績を向上させ、安定した収益構造への変革を推進することを企図して、マースエンジニアリングを割当先とする本増資を選択することといたしました。

また、当社は、39期（平成21年4月期）、38期（平成20年4月期）ともに、営業損失及び経常損失を計上しており、特に平成21年4月期において大幅な損失を計上したことにより、継続企業の前提に関する重要事象等が存在しております。そのため、銀行借入の拡大や借入条件の改善は困難な状況となってきております。

本増資は、このような厳しい資金調達環境の中で、より確実な資金調達方法であり、本増資により調達する資金は、当社の財務体質をより健全化させるとともに、運転資金の充実により、会社運営の安定化につながり、企業としての事業を発展継続させることが可能となり、将来的に株主価値を増大させることができると考えております。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額（差引手取概算額）

調達する資金の総額	357,400,000円
発行諸費用の概算額	2,500,000円
差引手取概算額	354,900,000円

※ 発行諸費用の内訳は、弁護士報酬、登記関連費用及び有価証券届出書作成費用等を予定しております。

(2) 調達する資金の具体的な使途及び調達する資金の支出予定時期

本増資によって調達する資金は、新株式発行価額の総額357,400,000円から発行諸費用の概算額2,500,000円を差し引いた残額全額について、平成21年12月から平成22年7月までの長期借入金金の約定返済に200,000,000円を順次充当し、平成22年1月に新製品量産金型費用として20,000,000円、残額は、平成22年1月に買掛金・経費支払等の運転資金に充当する予定であります。

4. 調達する資金使途の合理性に関する考え方

本増資の主たる目的は、資本・業務提携により、マースエンジニアリングとの信頼・協力関係を一層強固のものにし、新たなる関係の構築を通じて、営業力、技術力の両面の強化を図り、中長期的に当社の経営成績を向上させ、安定した収益構造への変革を推進することにあります。

本増資により調達する資金は、当社の財務体質をより健全化させるとともに、運転資金の充実により、会社運営の安定化につながり、企業としての事業を発展継続させることが可能となり、将来的に株主価値を増大させることができると考えております。

5. 発行条件等の合理性

(1) 発行価額の算定根拠

発行価額は、本増資に係る取締役会決議の直前日までの直近3か月間(平成21年9月4日から平成21年12月3日まで)に株式会社ジャスダック証券取引所が公表した当社普通株式の普通取引の最終価格の平均値(99.93円)を参考として、100円(プレミアム率0.1%)としました。

直近3か月間の平均値を参考としたのは、マースエンジニアリングが当社株式を中長期保有する予定であること、また、当社株式の浮動株が少なく、少量の取引高でも大きく価格が変動しやすいことから、特定の一時点の価格を参考とするよりも、一定期間における平均値を参考とするのが妥当と考えたからであります。

また、上記発行価額の算定根拠につきましては、日本証券業協会の「第三者割当増資等の取扱に関する指針」に準拠するものと当社は考えており、上記算定根拠による発行価額については、会社法第199条第3項に規定されている特に有利な金額には該当せず、本増資に係る取締役会決議に参加した社外監査役を含む監査役全員が賛成する旨の見解を述べております。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

今回の第三者割当による新株式の発行規模は、増資後の発行済株式総数に対して31.08%であり、現在の発行済株式数に対して45.09%希釈化することになり、1株当たりの株式価値の希薄化が生じることとなります。

当社としましては、マースエンジニアリングとの資本関係の構築により、信頼・協力関係を一層強固なものにし、新たなる関係の構築を通じて、営業力、技術力の両面の強化を図り、中長期的に当社の経営成績を向上させ、安定した収益構造への変革を推進することができると考えております。また、本増資により調達する資金は、当社の財務体質をより健全化させるとともに、運転資金の充

実により、会社運営の安定化につながり、企業としての事業を発展継続させることが可能となり、将来的に株主価値を増大させることができると考えております。

当社は、既存株主の皆様にならざる影響が生じることに鑑みて、当社社外取締役の森和弘氏、社外監査役の長尾武典氏及び外部の弁護士蜂須優二氏の3名から編成される第三者委員会を設置し、第三者割当による資金調達の実現性及び合理性について検討していただくことといたしました。

第三者委員会において、当社の資金調達の実現性、調達資金の規模及び発行価額の合理性、当該第三者割当における割当先の属性等の各項目を検討した結果、今回の発行数量及び株式の希薄化の規模は合理的である旨の意見書を平成21年12月3日付で入手いたしました。

その結果、当社といたしましては、今回の発行数量及び株式の希薄化の規模は合理的であるとの結論にいたしました。

6. 割当先の選定理由等

(1) 割当先の概要

(平成21年3月31日現在)

① 商号	株式会社マースエンジニアリング		
② 本店所在地	東京都新宿区新宿一丁目10番7号		
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 松波 明宏		
④ 事業内容	パチンコ関連を中心としたアミューズメント事業の製造販売		
⑤ 資本金の額	7,934,100千円		
⑥ 設立年月日	昭和49年9月13日		
⑦ 発行済株式数	22,720,000株		
⑧ 事業年度の末日	3月31日		
⑨ 従業員数	604名(連結)		
⑩ 主要取引先	三井住友ファイナンス&リース、三菱UFJリース		
⑪ 主要取引銀行	東京都民銀行、りそな銀行、三菱東京UFJ銀行		
⑫ 大株主及び 持株比率 (%)	株式会社イー・エンプランニング		19.90
	株式会社マースエンジニアリング		18.81
	松波 廣和		4.99
	松波 香代子		4.52
	松波 明宏		4.40
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)		3.77
	みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 東京都民銀行		
	口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社		2.64
	古宮 重雄		2.16
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)		2.12	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)		2.08	
⑬ 当社との関係等 (平成21年12月4日現在)	資本関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
⑭ 最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態(単位:百万円)			
	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期
純資産	32,926	31,858	35,371
総資産	44,075	42,615	54,712
1株当たり純資産(円)	1,595.70	1,711.87	1,900.93
売上高	26,564	26,016	28,893
営業利益	5,305	5,188	7,402
経常利益	5,411	5,381	7,597
当期純利益	2,980	3,164	4,319
1株当たり当期純利益(円)	141.87	159.53	234.16
1株当たり配当金(円)	40.00	45.00	50.00

(2) 割当先を選定した理由

前述のとおり、当社は、マースエンジニアリングとの資本関係の構築により、信頼・協力関係を一層強固なものにし、新たなる関係の構築を通じて、営業力、技術力の両面の強化を図り、中長期的に当社の経営成績を向上させ、安定した収益構造への変革を推進することができること、また、財務体質をより健全化させるとともに、運転資金の充実により、会社運営の安定化につながり、企業としての事業を発展継続させることが可能となることから、将来的には当社の企業価値及び株式価値の最大化を図れると判断しマースエンジニアリングを割当先といたしました。

当社は、割当予定先であるマースエンジニアリングが、反社会的勢力と一切関係がないことを確認しております。

(3) 割当先の保有方針

マースエンジニアリングによる当社株式の保有目的は、上記の関係に基づき長期保有を前提とし今後の関係強化のための継続的な保有であり、長期継続的な保有について同意頂いております。なお、割当予定先が割当新株式の払込期日から2年間に於いて、当該割当新株式の全部または一部を譲渡した場合には、直ちに譲渡を受けた者の氏名または名称及び住所、譲渡株式数等の内容を当社に書面で報告すること及び当社が当該報告内容をジャスダック証券取引所に報告すること並びに当該報告内容が公衆の縦覧に供されることにつき、当社は割当予定先と確約書を締結する予定であります。

7. 募集後の大株主及び持株比率 (%)

募集前 (平成21年10月31日現在)		募集後	
I D E C 株式会社	22.13	株式会社マースエンジニアリング	31.08
株式会社エヌ・アンド・エム	20.29	I D E C 株式会社	15.25
小平 学	12.18	株式会社エヌ・アンド・エム	13.99
東研社員持株会	2.81	小平 学	8.39
株式会社みずほ銀行	1.89	東研社員持株会	1.93
萩原 俊夫	1.27	株式会社みずほ銀行	1.30
株式会社横浜銀行	1.01	萩原 俊夫	0.88
マネックス証券株式会社	0.96	株式会社横浜銀行	0.70
加志 元史	0.85	マネックス証券株式会社	0.66
朝日生命保険相互会社	0.83	加志 元史	0.59

(注) 1 上記以外に、当社が保有する自己株式が380,440株(発行済株式総数に対する所有株式の割合は募集前4.80%、募集後3.31%)があります。

2 上記の株主の持株数には、信託業務または株式保管業務にかかる株式数が含まれている場合があります。

8. 今後の見通し

今回の資本・業務提携及び第三者割当増資が、平成22年4月期の業績に及ぼす影響は軽微であります。今後、業務提携の内容により、業績への具体的な影響が確定次第お知らせいたします。

9. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績（連結）（単位：百万円）

事業年度の末日	19年4月期	20年4月期	平成21年4月期
売上高	5,254	5,628	4,299
営業利益	0	△108	△403
経常利益	△26	△162	△467
当期純利益	△80	△341	△625
1株当たり当期純利益（円）	△10.54	△45.13	△82.87
1株当たり配当金（円）	13	—	—
1株当たり純資産（円）	332.00	270.72	190.27

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況（平成21年12月4日現在）

種類	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	7,926,000株	100%
現時点の行使価額における潜在株式数	157,000株	2.0%

(3) 今回のエクイティ・ファイナンスの状況

発行期日	平成21年12月24日	
調達資金の額	357,400,000円	
発行価額	100円	
募集時点における発行済株式数	7,926,000株	
当該増資による発行株式数	3,574,000株	
募集後における発行済株式総数	11,500,000株	
割当予定先	株式会社マースエンジニアリング	3,574,000株

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

該当事項はありません。

(5) 最近の株価の状況

①最近3年間の状況

日付	19年4月	20年4月	21年4月
始値	515円	485円	286円
高値	550円	485円	305円
安値	416円	290円	74円
終値	470円	300円	82円

②最近6か月間の状況

日付	21年6月	21年7月	21年8月	21年9月	21年10月	21年11月
始値	90円	104円	105円	94円	114円	98円
高値	108円	105円	105円	118円	114円	98円
安値	90円	89円	90円	94円	99円	83円
終値	102円	103円	95円	118円	100円	83円

③直近の株価

日付	21年12月3日
始値	88円
高値	88円
安値	88円
終値	88円

10. その他の重要な契約について
該当事項はありません。

II. 主要株主である筆頭株主の異動及び主要株主の異動について

1. 異動年月日

平成21年12月24日予定

2. 異動が生じる経緯

上記の第三者割当増資により発行される新株式3,574,000株は、全て株式会社マースエンジニアリングに割り当てられます。その結果、同社は当社の主要株主である筆頭株主に該当し、I D E C株式会社は主要株主である筆頭株主から主要株主に異動し、小平学氏が主要株主に該当しなくなることが見込まれます。

3. 異動する株主の概要

(1) 主要株主である筆頭株主に該当することとなる株主

- ①名 称 株式会社マースエンジニアリング
- ②所在地 東京都新宿区新宿一丁目10番7号
- ③代表者氏名 代表取締役社長 松波 明宏
- ④資本金の額 7,934百万円
- ⑤事業の内容 パチンコ関連を中心としたアミューズメント事業の製造販売

(2) 主要株主である筆頭株主から主要株主に異動することとなる株主

- ①名 称 I D E C株式会社
- ②所在地 大阪府大阪市淀川区西宮原1丁目7番31号
- ③代表者氏名 代表取締役会長兼社長 船木 俊之
- ④資本金の額 10,056百万円
- ⑤事業の内容 制御機器製品、制御装置及びF Aシステム製品、制御用周辺機器製品、防爆・防災関連機器製品、その他の電気機械器具の製造、販売

(3) 主要株主に該当しないこととなる株主

- ①名 称 小平 学
- ②所在地 東京都府中市

4. 当該株主の所有議決権数（所有株式数）及びその議決権の総数（発行済株式総数）に対する割合

(1) 株式会社マースエンジニアリング

	保有議決権数 (保有株式数)	議決権の総数に対する割合 (発行済株式総数に対する割合)	大株主順位
異動前	—	—	—
異動後	3,574個 (3,574,000株)	32.15% (31.08%)	第1位

(2) IDEC株式会社

	保有議決権数 (保有株式数)	議決権の総数に対する割合 (発行済株式総数に対する割合)	大株主順位
異動前	1,754個 (1,754,000株)	23.25% (22.13%)	第1位
異動後	1,754個 (1,754,000株)	15.78% (15.25%)	第2位

(3) 小平 学

	保有議決権数 (保有株式数)	議決権の総数に対する割合 (発行済株式総数に対する割合)	大株主順位
異動前	965個 (965,000株)	12.79% (12.18%)	第3位
異動後	965個 (965,000株)	8.68% (8.39%)	第4位

(注) 上記の異動後の議決権の総数に対する割合に関しましては、今回の第三者割当増資により発行する 3,574,000株を加算して算出しております。

5. 今後の見通し

今回の異動に伴う平成22年4月期の業績への影響は軽微であります。

Ⅲ. その他の関係会社(当社が他の会社の関連会社である場合における当該他の会社)の異動

1. 異動に至る経緯

前述の「Ⅱ. 主要株主である筆頭株主の異動及び主要株主の異動」に伴い、株式会社マースエンジニアリングがその他の関係会社に該当し、I D E C株式会社及び株式会社エヌ・アンド・エムがその他の関係会社に該当しなくなることが見込まれます。

2. 異動する会社の概要

(1) 新たにその他の関係会社となるものの概要

株式会社マースエンジニアリングの概要

(平成21年3月31日現在)

① 商号	株式会社マースエンジニアリング		
② 本店所在地	東京都新宿区新宿一丁目10番7号		
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 松波 明宏		
④ 事業内容	パチンコ関連を中心としたアミューズメント事業の製造販売		
⑤ 資本金の額	7,934,100千円		
⑥ 設立年月日	昭和49年9月13日		
⑦ 発行済株式数	22,720,000株		
⑧ 事業年度の末日	3月31日		
⑨ 従業員数	604名(連結)		
⑩ 主要取引先	三井住友ファイナンス&リース、三菱UFJリース		
⑪ 主要取引銀行	東京都民銀行、りそな銀行、三菱東京UFJ銀行		
⑫ 大株主及び持株比率(%)	株式会社イー・エムプランニング	19.90	
	株式会社マースエンジニアリング	18.81	
	松波 廣和	4.99	
	松波 香代子	4.52	
	松波 明宏	4.40	
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3.77	
	みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 東京都民銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	2.64	
	古宮 重雄	2.16	
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2.12	
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	2.08	
⑬ 当社との関係等(平成21年12月4日現在)	資本関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
⑭ 最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態(単位:百万円)			
	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期
純資産	32,926	31,858	35,371
総資産	44,075	42,615	54,712
1株当たり純資産(円)	1,595.70	1,711.87	1,900.93
売上高	26,564	26,016	28,893
営業利益	5,305	5,188	7,402
経常利益	5,411	5,381	7,597
当期純利益	2,980	3,164	4,319
1株当たり当期純利益(円)	141.87	159.53	234.16
1株当たり配当金(円)	40.00	45.00	50.00

(2) その他の関係会社でなくなるものの概要

① IDEC株式会社の概要

(平成21年3月31日現在)

(1) 商号	IDEC株式会社 (東証1部・大証1部 6652)	
(2) 本店所在地	大阪市淀川区西宮原1丁目7番31号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長兼社長 船木 俊之	
(4) 事業内容	制御機器製品、制御装置及びFAシステム製品、制御用周辺機器製品、防爆・防災関連機器製品、その他の電気機械器具の製造、販売	
(5) 資本金の額	10,056百万円	
(6) 設立年月日	昭和22年3月	
(7) 連結純資産	25,837百万円	
(8) 連結総資産	33,279百万円	
(9) 大株主及び持株比率 (%)	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 8.23 船木 恒雄 4.21 株式会社みずほ銀行 3.43	
(10) 上場会社と当該会社との関係等 (平成21年12月4日現在)	資本関係	当社普通株式を1,754,000株保有しております。
	人的関係	従業員1名が、当社取締役に就任しております。
	取引関係	当社製品の販売

②株式会社 エヌ・アンド・エムの概要

(平成21年4月30日現在)

(1) 商号	株式会社エヌ・アンド・エム (非上場)	
(2) 本店所在地	東京都府中市幸町1-21-2	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 小平 那津子	
(4) 事業内容	損害保険代理業	
(5) 資本金の額	1,000万円	
(6) 設立年月日	昭和61年5月10日	
(7) 純資産	120百万円	
(8) 総資産	282百万円	
(9) 大株主及び持株比率 (%)	小平 学 100	
(10) 上場会社と当該会社との関係等 (平成21年12月4日現在)	資本関係	当社普通株式を1,608,520株保有しております。
	人的関係	取締役2名が、当社取締役に就任しております。
	取引関係	該当事項はありません。

3. 異動年月日

平成21年12月24日予定

4. 異動前後における所有する議決権の数及び所有割合 (平成21年12月4日現在)

(1) 株式会社マースエンジニアリング

	属性	議決権の数 (議決権所有割合)		
		直接所有分	合算対象分	計
異動前	—	—	—	—
異動後	親会社等	3,574個 (32.15%)	—	3,574個 (32.15%)

(2) IDEC株式会社

	属性	議決権の数 (議決権所有割合)		
		直接所有分	合算対象分	計
異動前	親会社等	1,754個 (23.25%)	—	1,754個 (23.25%)
異動後	—	1,754個 (15.78%)	—	1,754個 (15.78%)

(3) 株式会社 エヌ・アンド・エム

	属性	議決権の数 (議決権所有割合)		
		直接所有分	合算対象分	計
異動前	親会社等	1,608個 (21.32%)	—	1,608個 (21.32%)
異動後	—	1,608個 (14.46%)	—	1,608個 (14.46%)

5. 今後の見通し

今回の異動に伴う平成22年4月期の業績への影響は軽微であります。

6. 開示対象となる非上場の親会社等の変更の有無等

開示対象となる非上場の親会社等はありません。

以 上